

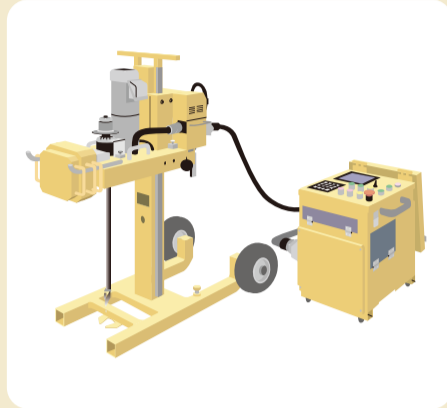
地盤調査から品質保証まで、万全の安心を提供する ジャパンホームシールドのリスクマネジメント。

調査

地盤調査の要! 土質までも明らかにする次世代の地盤調査

SDS試験

他社にない独自の技術 ————— 地盤事故ゼロのために開発された、土質が分かる地盤調査。 特許番号: 4705520



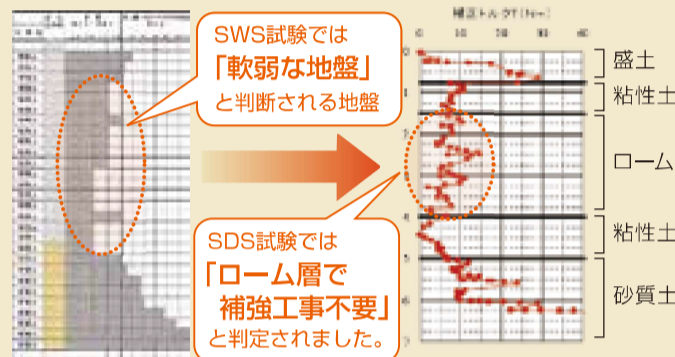
SWS試験・ボーリング調査・
SDS試験等の
各種調査メニューより
お選びいただけます。

一般的なスウェーデン式サウンディング試験では把握できない細かい土の種類を、より正確に判断し、的確な評価を支援する新しい試験法です。

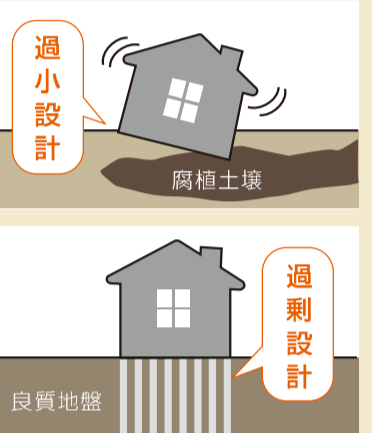
土質判定	ローム	砂質土	粘性土	腐植土	盛土
------	-----	-----	-----	-----	----

精度の高い調査が判定品質を変える

SWS試験結果では補強工事が必要とされた判定が、
SDS試験結果で補強工事不要と判定された実例



過剰設計・過少設計を低減



※ボーリングによる採取試料から実施した、粒度試験による土質判別(砂・粘性土など)とSDS[®]試験から統計的に判別した土質との相関は85%以上の精度を持っています。

解析

最適な解決策を導き出す解析力

第三者解析

他社に差をつける解析力 — 地盤リスクに関する適正なコンサルティング力と対策力を事業者さまに提供。



問題を抱えた敷地も ご相談ください

たとえば擁壁や盛土の状況まで、一邸一邸をしっかりと。地盤と建物を知り尽くした解析スタッフが、調査結果とこれまで蓄積した独自の地盤・地形情報に照らして地盤リスクを解析し、その敷地の安全性を判定します。地盤と建物の知識を身につける各種研修制度を修了した専門解析スタッフが担当いたします。

報告・提案

対策 設計審査 施工審査

※地盤対策が必要な場合

高い専門知識と技術力で、質の高い解析、対策を提案するJHSの資格者 (2018年3月)

- 工学博士 2名 ●技術士(建設部門) 3名 ●技術士(応用理学部門) 1名 ●技術士補 13名 ●一級建築士 15名 ●二級建築士 21名
- 一級建築施工管理技士 8名 ●一級土木施工管理技士 27名 ●二級土木施工管理技士 7名 ●地盤品質判定士 47名 ●地盤品質判定士補 9名
- 地質調査技士 10名 ●住宅地盤主任技士(設計施工部門) 30名 ●住宅地盤技士(設計施工部門) 57名 ●住宅地盤主任技士(調査部門) 59名
- 住宅地盤技士(調査部門) 74名 ●測量士 7名 ●測量士補 16名

品質保証

不同沈下しないという安心を提供する地盤品質保証

品質保証

業界をリードするサポート力 — 万が一の事故の時も万全な対応をいたします。

比較項目	一般的な保証	JHS
調査(工事)から引渡しまでの最長期間	6ヶ月~1年以内	3年以内
1事故あたりの限度額	2,000~5,000万円	5,000万円
仮住まい費用	50~200万円	200万円
事故原因調査費用	なし~200万円	200万円
訴訟費用	1,000万円	1,000万円
免責金額	なし~10万円	なし



▲品質保証書

検査の結果、当社の品質基準に合格した地盤、当社の提案した改良工事を施した地盤には、その証明として「品質保証書」を発行いたします。